

川路地区【市長と語るまちづくり懇談会】開催

飯田市では、毎年市内20地区で「市長と語るまちづくり懇談会」が開催されています。川路地区は9月12日（木）川路公民館大会議室にて開催しました。

このまちづくり懇談会は、市民と市長が直接対話し、地域の課題や将来の計画について意見交換を行うものです。

【出席者】

飯田市： 佐藤市長 岡本危機管理部長 井田建設部長 市瀬産業経済部長
天竜川総合学習館（かわらんべ） 寺澤館長
川路： まちづくり委員会役員 防災川路関係者・・・28名

【ようす】

中島良彦会長の挨拶で、川路まちづくり委員会の活動報告をしました。
令和6年度 川路まちづくり委員会の五つの重点実施事項の中から・川路の人口維持と・里山保全について活動を報告



テーマ1：防災川路への支援のお願い（消防団に準じた手当支給、軽自動車の払い下げ等）

発言者：久保田聖昭 区長（八区）

→「支援団員制度」があり手当等支給あり。年齢制限（33～68歳未満）や既存の班に属して指揮命令に従うが必要ある。軽自動車の払い下げについては、他地区からも要望があり、順番を待ってほしい。また、払い下げ後の車両の保管場所についても要望を受けたので市として検討する。

テーマ2：リニア工事における今後の骨材需要を見越した天竜川と阿知川合流地点の砂利浚渫等のお願い

発言者：牧内穰 区長（七区）

→天竜川環境整備公社で毎年5万㎡砂利採取している。浚渫砂利利用については、JRに話をしていく。天竜川環境整備公社のトップである佐藤市長の具体的なフォローに期待。



テーマ3：川路の里山管理・保全に向けた支援のお願い

発言者：塩澤太一 区長（六区）

→森林経営管理制度を活用すれば、市が所有者に意向調査を行う。山林を所有、相続しても管理ができない所有者が希望すれば委託により市や事業者が整備することができる。



市長の部屋（Web）より
川路のまちづくり懇談会



見てね！

川路地区で市長と語るまちづくり懇談会を開催しました。防災川路や天竜川河床浚渫といった住民の安全に関する話題と里山管理について具体的な意見交換を行いました。行政としても、川路地区の皆さんと共に考え、課題解決に向けて進めてまいります。

【菜の花愛護会 除草 耕運 種まき】

9月に入っても猛暑が続く中、菜の花愛護会（田畑 保廣 会長）は多忙な日々でした。

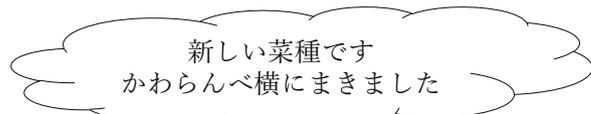
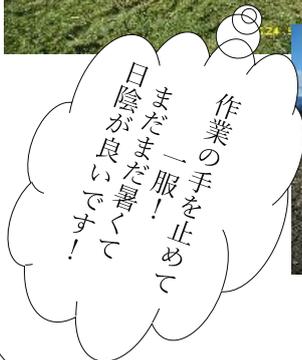
① 9/13：草刈り 耕運 ② 9/14：草刈り ③ 9/21：枯草焼却 耕運 ④ 9/23：種まき

今までは観賞用の菜の花でしたが、今年は、新しいことにチャレンジしています。田畑会長は、会員に相談をして、油を採って食用にできる菜種を購入し、まくことにしたのです。



そうしたら、次はその菜種油の話題で盛り上がっています。取らぬ狸の〇〇？皆さん初めてのことですが、夢中です。気持ちが若い皆さんだと改めて思いました。

◆菜種油の作り方をご存じの方は、お近くの愛護会会員まで情報を◆



【敬老の日】お祝い品をお届けしました

健康福祉委員会（市瀬あつ子 委員長）は今年も敬老の日の事業を実施したので、報告します。

【実施日】：9月14日（土）

【対象者】：301名（77歳以上の方）

【内容】：お祝い品をお届けしました。

各区の健康福祉委員が直接対象者ご本人にお届けしました。

お祝い品は、春木屋の紅白饅頭とキッコマンの調味料セット（醤油セット）です。敬老会対象者の皆さんからご要望をいただいた中から健康福祉委員会で決めさせていただきました。川路地区全体で統一したお祝い品です。

今年度もコロナ前のような川路地区敬老会の開催はできませんでしたが、お祝い品をお受け取りいただいた方には大変喜んでいただけました。



敬老の日って9月15日では？

と古い私は思っていました。

そこで、調べると

1947年から9月15日を「としよりの日」と呼んでいた。

1966年には9月15日を「敬老の日」と呼ぶようになった。

その後、2003年から祝日法改正（ハッピーマンデー法）によって「敬老の日」は9月の第3月曜日になったそうです。

